

元畜技協第 506 号
令和元年 10 月 4 日

各 位

公益社団法人 畜産技術協会
会 長 南波 利昭
〔公印省略〕

「OPU 実務者技術研修会」の開催について

時下ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の事業の実施につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、令和元年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業 畜産・酪農生産力強化対策事業 繁殖性等向上対策事業を実施しており、その中で先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を別紙開催要領により開催することとなりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが、研修会の趣旨をご理解いただき、関係者にご案内していただきますようお願い申し上げます。

また、標記研修会への参加のご希望がございましたら、10月23日(水)までに当協会までお申込み下さいますようお願い申し上げます。

問 合 先
公益社団法人 畜産技術協会 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9 TEL : 03-3836-2301 FAX : 03-3836-2302 E-mail : oubo@jlta.jp
担当者 : 企画課 渡邊



『OPU 実務者技術研修会』

於；地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場
開 催 要 領

1 目 的

(1) 事業目的

畜産・酪農の生産力強化を図るためには、地域の課題となっている繁殖性の向上や子牛の損耗防止等の技術的な問題を改善していくことが必要となる。

そこで、本事業では、先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関(畜産試験場、大学等)に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を開催する。

(2) 研修会目的

本研修会においては、畜産農家の生産力強化、収益性向上のための技術(牛生体卵胞内卵子吸引(OPU)技術等)について、ある程度の OPU 経験者がその知識と手技のレベルアップを目指すものとする。受講者は OPU の理論と現状についての知識を身につけ、と体の生殖器(子宮及び卵巣)を用いた基本的な OPU 技術の確認、生体牛による実践的な OPU 技術、OPU により採取した卵子の培養および体外受精技術の実習を行う。また研修会の中で、日常業務における疑問点や新たな技術への要望に対処する。

2 主 催 公益社団法人 畜産技術協会

3 開催日時及び場所

- (1) 日 時 令和元年 11 月 21 日(木) 13:00~17:00
22 日(金) 9:00~13:00

- (2) 場 所 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場
(〒081-0038 北海道上川郡新得町字新得西 5 線 39-1)

4 講 師 (敬称略・順不同)

- (1) 今井 敬 (酪農学園大学 動物生殖工学研究室 教授)
(2) 吉野 仁美 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場 研究職員)

5 講義及び実習内容 ーOPU 経験者(中級者)向けー

- (1) OPU の概要と現状に関する講義
(2) と体子宮からのエコーによる卵子回収技術実習
(3) ホルモン処理(FGT)した牛からの卵子回収実習
(4) 体外受精技術実習

6 募集要項 5名(有資格者であること)

- (1) 受講後営利目的なしに地域で指導できる者とする
(2) 受講希望者多数の場合は選考にて実習受講者を選定するものとする
(3) 研修内容は日常的に繁殖業務に携わっている獣医師で OPU 経験者を主な対象とする

7 参加費用

- (1) 研修会の受講料は無料
- (2) 研修会受講のために必要な交通費、宿泊費等は受講生が各自負担するものとします

8 持ち物 作業着(防護服等消耗品は会場で用意します)、帽子、防寒着、着替え、洗面用具、雨具、タオル、昼食(近隣に食堂はなく、コンビニエンスストアまで約2.5km離れています)

9 参加申込

受講をご希望の方は、10月23日(水)必着、別紙「研修会申込書」に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mail(申込書をメールに添付)で事務局あて事前申し込みをお願いします(当日参加不可)。

なお、締め切り後、選考ののちメールにて受講の諾否を通知いたしますので、メールアドレスを必ずご記入ください。

10 申込先 公益社団法人 畜産技術協会 担当；管理部 企画課 渡邊
TEL：03-3836-2301 FAX：03-3836-2302 E-mail：oubo@jlta.jp

11 その他

- ※ 畜産試験場内宿泊施設の利用が可能です。宿泊される場合22日の朝食をご利用いただけます。
- ※ 11月21日(木)夜は新得町内で情報交換会を予定しています。
- ※ 防疫の関係上、受講者は研修会前一週間海外に渡航、滞在せず、11月21日(木)から研修終了までの期間、他の畜産関係施設等に立ち入らないようお願いいたします。防護服、長靴はこちらで準備いたします。サイズを申込書にてお知らせください。
- ※ 近隣で特定家畜伝染病が発生した場合、やむを得ず研修会を中止させていただく場合がございます。
- ※ 豚コレラの発生市町村にご在住の方及び、発生市町村で診療等を行っている方に関しましては、誠に申し訳ございませんが、研修会へのご参加をお断りさせていただきます。

【協会からのお知らせ】

研修会開催要領、参加申込書につきましては、当協会ホームページでもダウンロードが可能です。

また、今後の研修会につきましても、ホームページで随時更新予定です。

公益社団法人畜産技術協会 HP：<http://jlta.lin.gr.jp/> News&Topicsをご確認ください。

皆様のご参加をお待ちしています！

令和元年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業(平成30年度補正)

畜産・酪農生産力強化対策事業 繁殖性等向上対策事業

『OPU実務者技術研修会』

in 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場

参加申込書

⇒ 申込先 E-mail : oubo@jlta.jp または FAX : 03-3836-2302

公益社団法人 畜産技術協会 宛

★ 参加ご希望の方は、必要事項を下記にご記入の上、お申込みください。

★ 申込締切日 令和元年10月23日(水)

所属・役職						
ふりがな 氏名						
年齢	才	性別	男	女	超音波画像診断装置及び OPUの使用経験年数	年
現在の 業務内容						
住所	〒 [所属先の場合は、部署名もお書き添えください。]					
TEL				FAX		
携帯 TEL				E-mail		
その他 (普段の業務で困 っていること、本研 修会で習得したい ことなど)						

以下、該当項目に○を付けてください

防護服のサイズ	S	M	L	LL	長靴のサイズ	cm
宿泊	有(200円)		無		食事(22日(金)朝食)	有(540円) 無

☆ 緊急時に連絡が取れる携帯電話番号をご記入いただくと助かります。

☆ 実習受講者の選考では、「現在の業務内容」等を参考にいたしますので、必ずご記入ください。

☆ 選考結果については、後日メールで連絡いたしますので、メールアドレスを必ずご記入ください。

タイムスケジュール

【令和元年11月21日(木)】

〔敬称略〕

時間	項目および内容	場所
12:30～	受付	畜産試験場 3階 セミナー室
13:00～13:30	開会のあいさつ 公益社団法人 畜産技術協会 北海道立総合研究機構 畜産試験場 受講生挨拶(自己紹介)	
13:30～15:00	OPUの概要と現状に関する講義 酪農学園大学 動物生殖工学研究室 教授 今井 敬	
15:30～16:00	体外受精技術実習 北海道立総合研究機構 畜産試験場 研究職員 吉野 仁美	畜産試験場 2階 胚移植実験室
16:00～17:00	と体子宮からのエコーによる卵子回収技術実習 酪農学園大学 動物生殖工学研究室 教授 今井 敬	

※ 時間は多少変更になることがあります

【令和元年11月22日(金)】

〔敬称略〕

時間	項目および内容	場所
9:00～12:30	ホルモン処理(FGT)した牛からの卵子回収実習 酪農学園大学 動物生殖工学研究室 教授 今井 敬	畜産試験場 ドナー牛舎
12:30～13:00	閉会	畜産試験場 3階 セミナー室
	質疑応答及びアンケート回答	

※ 時間は多少変更になることがあります

※ 場所と連絡先: 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 畜産試験場

〒081-0038 北海道上川郡新得町字新得西5線39-1 電話0156-64-0617